

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学校体育振興事業	子どもの健康と安全が保たれている	子どもの体力向上及び健康増進を図るため、学校体育を振興する。	・岸和田市体力向上支援委員会の開催 ・スキップロープチャレンジの実施 ・体育実技研修会の実施	3：おおむね近づいた	継続	36,002	2,911	38,913	「達成感・楽しさ」をキーワードとした授業は少しずつであるが改善されてきつつある。しかし体力テスト等の数値には十分に反映されていない。引き続き継続する必要有。	岸和田市体力向上支援委員会で体力向上について協議し体育実技研修などを通して体育の授業改善に取り組む。	
2	小中一貫教育推進事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	小中一貫教育推進会議の円滑な運営を行い、市内全学区での小中一貫教育の実施をめざす。	・モデル校区での小中一貫教育実践。 ・全中学校区での小中一貫教育推進計画策定。	4：大いに近づいた	継続	-	1,820	1,820	全中学校区で小中一貫教育を円滑に実践していく必要がある。	担当者会を通じて、岸和田市がめざす小中一貫教育の趣旨や目的、好事例を発信する。	
3	学力向上支援事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童生徒の学力向上を図るため、各学校の学力向上の取組について支援や助言を行うアドバイザーを派遣する。	・市内小中学校へ授業改善アドバイザー（退職教員・大学教授等）を派遣し、授業改善のための指導助言・校内研究のアドバイスをいただいた。	2：一定近づいた	継続	46,199	10,189	56,388	授業は改善されてきつつあるが、まだ学力テスト等の数値には十分に反映されていない。引き続き継続する必要有。	継続的にアドバイザーを配置し、各校の児童生徒の課題に正対したアドバイスを依頼していく。	
4	副読本指導資料作成等事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	各校園における教育内容を充実させるため、副読本及び指導資料、作品集等を作成・配布する。	・副読本の編集、作成、保管、配布業務を委託。 ・各校園に適切に配布し、場合により転入生用の追加配布や、拡大写本の作成を実施。	3：おおむね近づいた	継続	7,819	1,456	9,275	特になし	他教科の学習者用デジタル教科書の効果検証を注視し、次回改定時の対応を検討する。	
5	ICT教育推進事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	ICT機器を活用した授業の円滑化及び学校の教育情報化を推進するため、学校にICT支援員を配置するとともに、授業支援ソフトを導入する。	・授業支援ソフトを導入し、各学校で学級の友達と意見を交換する場面や自分の考えをまとめ、発表する場でICTを活用した授業改善が行われた。	2：一定近づいた	継続	34,421	7,642	42,063	授業での利活用が進んできているが、情報活用能力の育成につながる授業に取組んでいく必要がある。	授業支援ソフト、学習支援ソフトのさらなる活用に向け、研修等を実施する。	
6	外国語活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童の学習効果の向上と外国語活動における教員の指導力の向上を図るため、外国語活動補助員を各小中学校に巡回派遣する。	・専科教員配置のない小学校15校に外国語指導補助員(3名)を派遣。3～6年生の外国語の授業において、担当教員をサポート。 ・「効果的に機能している」…100%	3：おおむね近づいた	継続	2,675	1,820	4,495	今後の専科教員配置の動向にもよるが、1校当たりの派遣回数(時数)の増加、補助員の資質向上が課題。	補助員の人数増や連携する教員、補助員の資質向上に向けた取組が必要。	
7	外国語教育事業(他課からの予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	英語科における生徒のコミュニケーション能力の向上と、児童の外国語活動指導の充実を図るため、中学校に外国語指導助手を派遣する。	・年間通じて、小中学校にALT(7名)を派遣し、児童生徒にネイティブの英語に触れる機会を設定。 ・「効果的に機能している」…92%	3：おおむね近づいた	継続	17,462	1,820	19,282	1校当たりの派遣回数(時数)の増加、ALTとの効果的な授業を行うための教員の資質向上が求められる。	中学校区にALT1名配置を目標に、派遣回数(時数)を増加する。	
8	教育センター管理事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教育センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	・定期的に保守点検を実施。 ・公共建築マネジメント課と連携し、修繕を実施。	3：おおむね近づいた	継続	3,808	2,571	6,379	施設の老朽化に伴い、今後も修繕が必要になる見込み。	定期的な点検を継続して行い、早期に修繕していくことが必要。	
9	教育センター運営事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教職員の専門的知識・技能・指導力の向上を図るとともに、教育相談活動を一層推進するため、教育センターを運営する。	・教育相談室カウンセラー(5名)、精神科医師(1名)を配置。児童生徒・保護者・教職員対象のカウンセリングを実施。利用人数…のべ1117人。 ・子どもサポートルーム「エスパル」利用人数…のべ694人	2：一定近づいた	継続	270	4,050	4,320	教育相談室の利用促進及び、多岐にわたる業務の円滑かつ遺漏のない遂行が必要。	教育相談室を必要とする方々に、適切に情報を発信する。	
10	教職員研修・育成事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教職員の資質向上を図るため、研修を実施するとともに、教職員の自主的な研究・研修を支援する。	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の類型変更もあり、参加者同士での討議や意見交換をより積極的に行うことができた。	4：大いに近づいた	継続	5,614	24,464	30,078	受講者が、研修会を通じた学びを自分ごとに感じることができたか。この視点を大切に研修会の内容を組み立てていく必要がある。	受講者が、研修で得た学びを校内へ持ち帰り、実践、その後、成果と課題を再度共有。こういった研修ユニット型の研修も効果的に導入する必要あり。	
11	国際交流等支援事業(他課への一部予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	市内小・中・高生が異なる習慣や文化などについて理解し、豊かな人間性を育むため、様々な交流や体験ができる機会をつくる。	・市内高校生（産業高校生含む）を友好都市のサウスサンフランシスコへ派遣し、国際理解教育を推進した。	4：大いに近づいた	継続	108	1,820	1,928	継続的な派遣及び派遣受け入れ等を通じ、国際理解教育を推進する必要がある。	海外派遣及び派遣受け入れ以外の機会においても、関係機関と連携しながら、市内小・中・高生の国際理解教育を推進する。	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
12	読書活動事業(他課への一部予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童・生徒の読書活動を推進するため、小・中学校図書館活動を充実させる。	・学校司書を19名配置し、読書活動を推進した。 ・各学校の読書推進の好事例を共有し、各学校で実践を行う支援をした。	3：おおむね近づいた	継続	20	728	748	1人で2校を兼務している司書が多く、クラス数の多い学校では、すべてのクラスにいけないことが課題。	1人1校配置の増加や、好事例の共有を引き続き行い、学校と学校司書が連携できるように支援や助言しさらなる読書推進を図っていく。	
13	地域教育支援活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	地域全体で子どもを育てる体制を整えるため、学校の教育体制づくりを推進、支援する。	・各学校園で地域と学校の協働もと、特色のあるボランティア活動を行った。 ・ボランティア不足の課題に対して、様々な場で発信を行った。	4：大いに近づいた	継続	4,330	2,911	7,241	ボランティアの高齢化に伴うボランティア不足。	新しいボランティアの発掘を様々な場面で行っていく。	
14	児童生徒育成支援事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	園児および児童・生徒の健全な育成を図るため、学校教育に関する各種支援を行う。	・各校園における生徒指導に伴う活動や、いじめ防止の支援を行った。 ・各校園の特色ある教育活動を推進した。 ・各校園及び教育相談室において教育相談体制が充実された。	2：一定近づいた	継続	34,872	24,205	59,077	教育相談体制のさらなる充実が必要。	各専門家の配置をさらに拡充し、一人一人の課題に応じた切れ目のない支援を行う。	
15	教育委員会表彰事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	多年の努力に報い、他の規範となってもらうようにするため、本市学校教育の振興に功労のあった者を表彰する。	・文化の日祝典(11/3)では、団体13、個人52名の表彰。 ・追加表彰式(2/27)では、団体4、個人11名の表彰。	3：おおむね近づいた	継続	-	728	728	特になし	特になし	
16	学校教育課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	・密な情報共有 等	4：大いに近づいた	継続	-	17,059	17,059	多岐にわたる業務の円滑かつ遺漏のない遂行が必要。	特になし	
17	部活動支援事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	部活動指導員により教員の時間外勤務削減、適切な練習方法の導入及び質的な向上を目的とする。	・部活動指導員(運動部2名、文化部3名)を配置し、教員の時間外勤務削減、適切な練習方法の導入及び質的な向上を図った。	2：一定近づいた	継続	5,639	2,911	8,550	部活動指導員のさらなる増員により、教員の負担軽減等につなげる必要がある。	学校と連携しながら、部活動指導員の増員を図る。	
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48												
49												
50												

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
51												
52												
53												
54												
55												
56												
57												
58												
59												
60												
61												
62												
63												

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／学校教育部学校教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
64												
65												
66												
67												
68												
69												
70												